

別紙1 工事区分

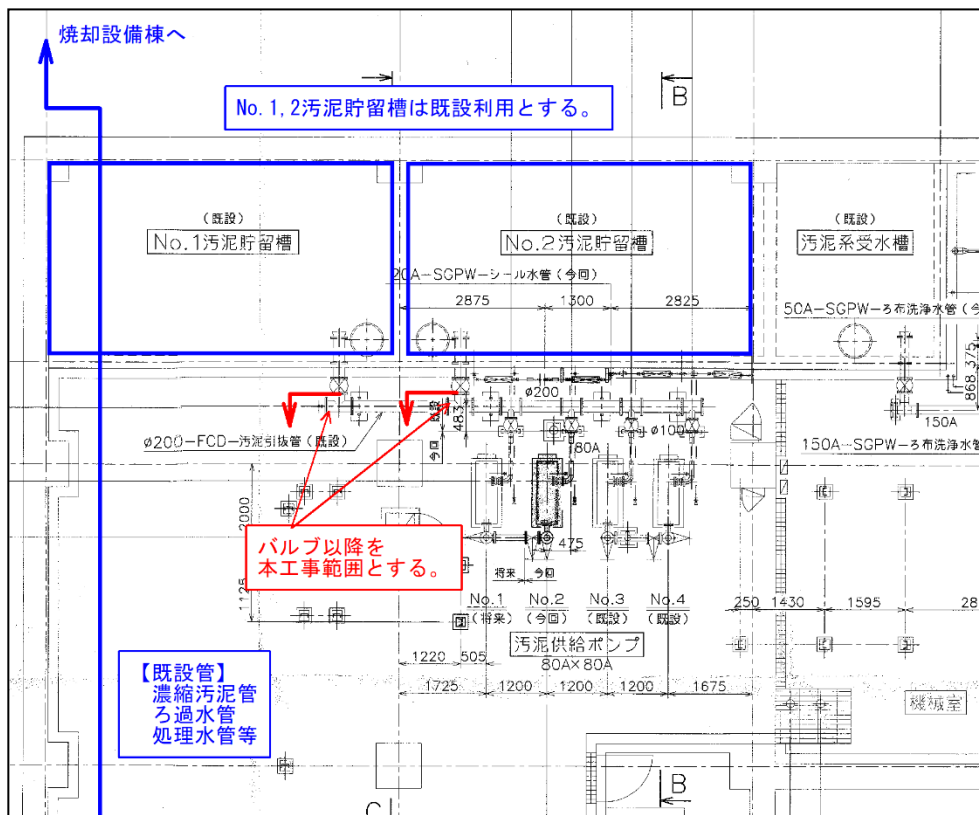
本事業における取り合い点等工事範囲を示す。

なお、現状の取合い点を示したものであり、現状と工事時で状況が変わるため、工事時の現場状況を事業者にて確認するものとする。

(1) 消化汚泥

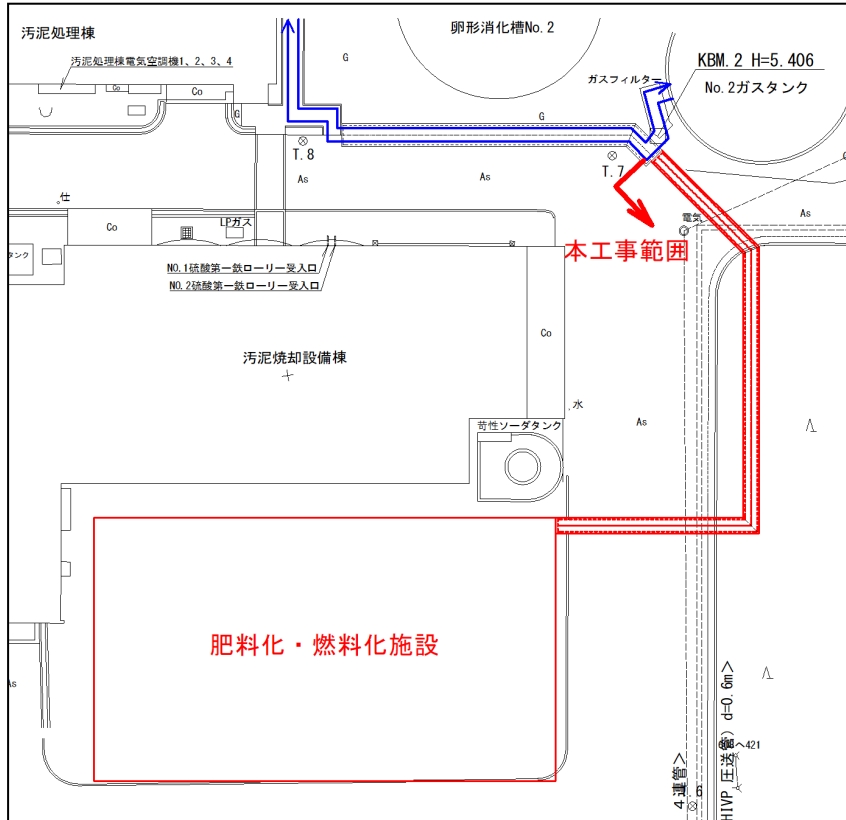
消化汚泥は、汚泥処理棟地下1階の汚泥貯留槽は既設を利用するものとし、吐出管（躯体貫通部は除く）以降の配管を今回工事に含むものとする。

消化汚泥を肥料化・燃料化施設へ送泥するポンプの新設も含む。



(2) 消化ガス

No.2 ガスタンク付近のバルブから分岐し、分岐から肥料化・燃料化施設（今回）までの配管を本工事範囲に含むものとする。なお、下記図はあくまで案とし、配管及び配管ピット等の位置については事業者提案によるものとする。



(3) 用水

①二次処理水

二次処理水は、し尿処理施設で 0.57m³/min を利用予定のため、1.0m³/min からの差分である 0.43m³/min を使用予定水量とする。

なお、下記図はあくまで案とし、配管及び配管ピット等の位置については事業者提案によるものとする。

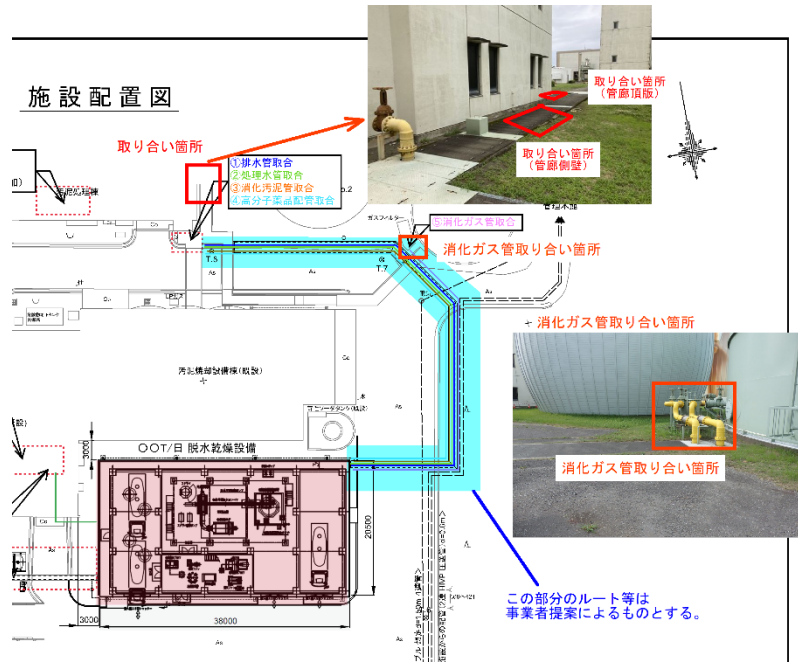


図1 汚泥処理棟～新施設までの配管ルート案

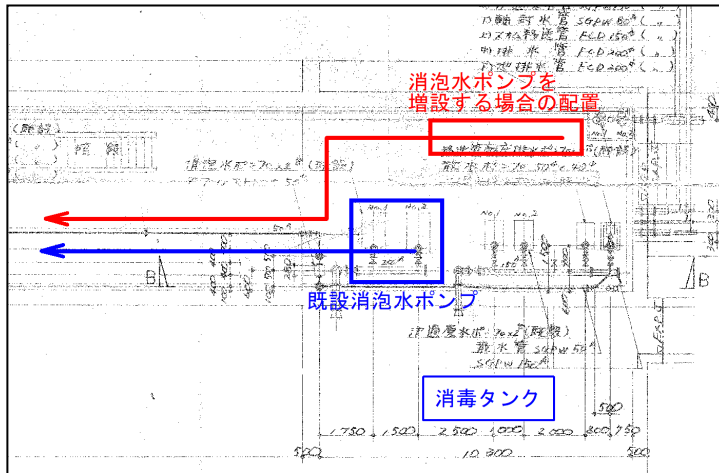
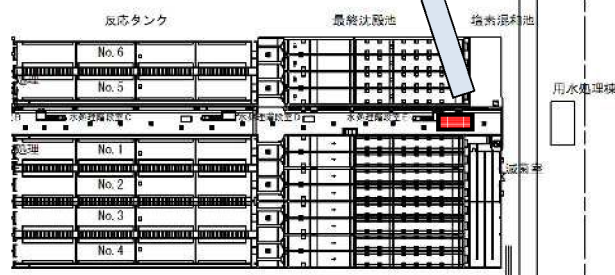


図2 ポンプを増設する場合の分界点

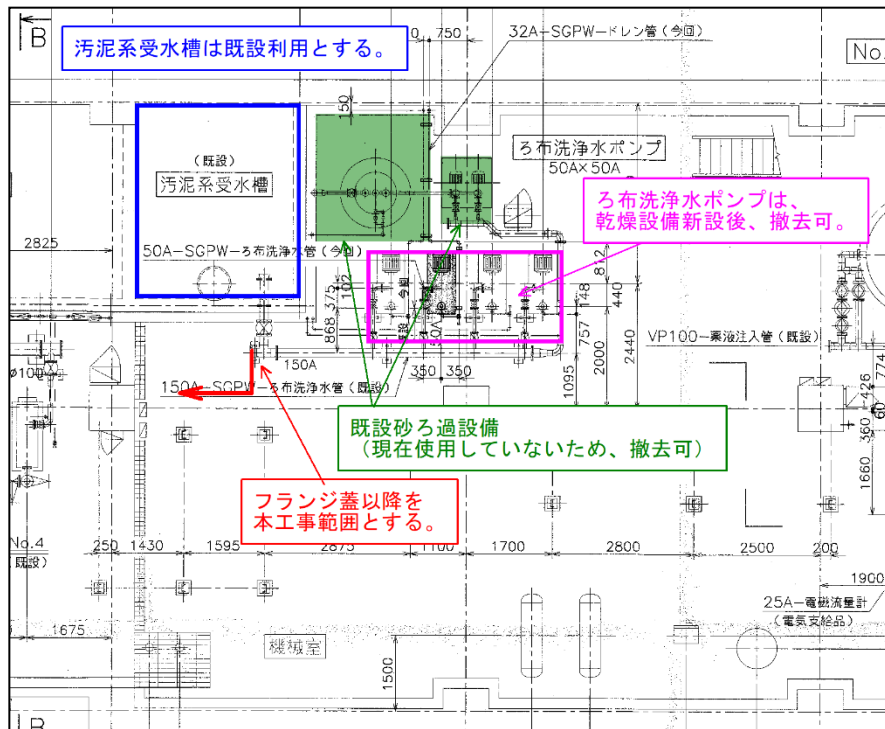


②砂ろ過水

砂ろ過水は、汚泥処理棟地下1階の受水槽は既設を利用するものとし、吐出管（躯体貫通部は除く）以降の配管を今回工事に含むものとする。

砂ろ過水給水設備は、現在使用していないため、撤去可能である。

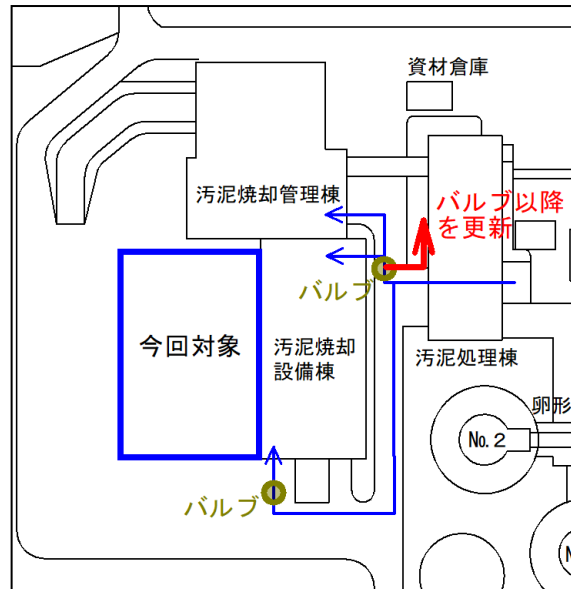
乾燥設備（脱水機含む）用の給水ポンプの新設は、今回工事に含むものとする。



③上水

上水は、極力使用しないものとし、手洗いや新施設の給水等のみを用いるものとする。

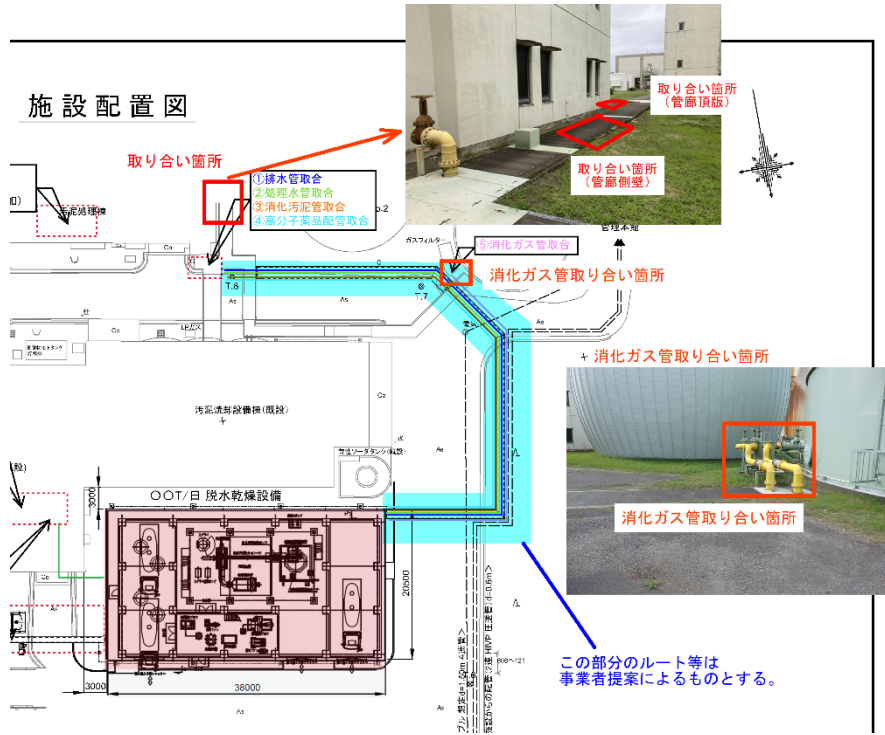
上水管は、汚泥処理棟と汚泥焼却棟の間まで布設されているため、汚泥焼却棟付近のバルブ以降を今回工事に含むものとする。



(4) 排水

① プラント排水

乾燥設備（肥料化・燃料化）施設内に排水槽を設けて、今回工事で排水ポンプを設置し、下記の取り合い箇所まで配管を布設し、管廊内で既設焼却施設の排水管へ接続する計画とする。



② 雨水排水

新設する肥料化・燃料化施設の建屋に雨どいを設けて、場内側溝へ排水するまでの配管を含むものとする。